

マイアジェンダ登録者の地球温暖化防止の取組等に関する調査
結果報告書

平成24年2月

神奈川県環境農政局環境保全部環境計画課

かながわ地球環境保全推進会議

目次

	頁
I 調査概要	1
II 調査結果	
1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について	4
2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について	11
III 集計表	
1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について	13
2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について	19

注…集計表の比率(%)は端数を四捨五入し表示しているため、合計が100%にならないことがあります。

I 調査概要

1 調査の趣旨

家庭部門の地球温暖化対策の推進を図るため、マイアジェンダ登録者を対象に、登録の効果等に関するアンケート調査を行い、今後の施策展開の基礎資料とする。
また、平成21年度に実施した同調査の経年変化を調査する。

2 調査対象

マイアジェンダ登録者 20,818名
(内訳) 電子メールアドレス未登録者 3,300名
電子メールアドレス登録者 17,518名

3 調査方法

電子メールアドレス未登録者 郵送による配付・回収
電子メールアドレス登録者 電子メールによる送信・受信

4 調査期間

平成23年10月11日～11月15日

5 アンケート回収状況

	対象数		回答数	回答率	
	発送数	不着数			
郵送	3,300件	88件	3,212件	932件	29.0%
メール	17,518件	2,016件	15,502件	209件	1.3%
合計	20,818件	2,104件	18,714件	1,141件	6.1%

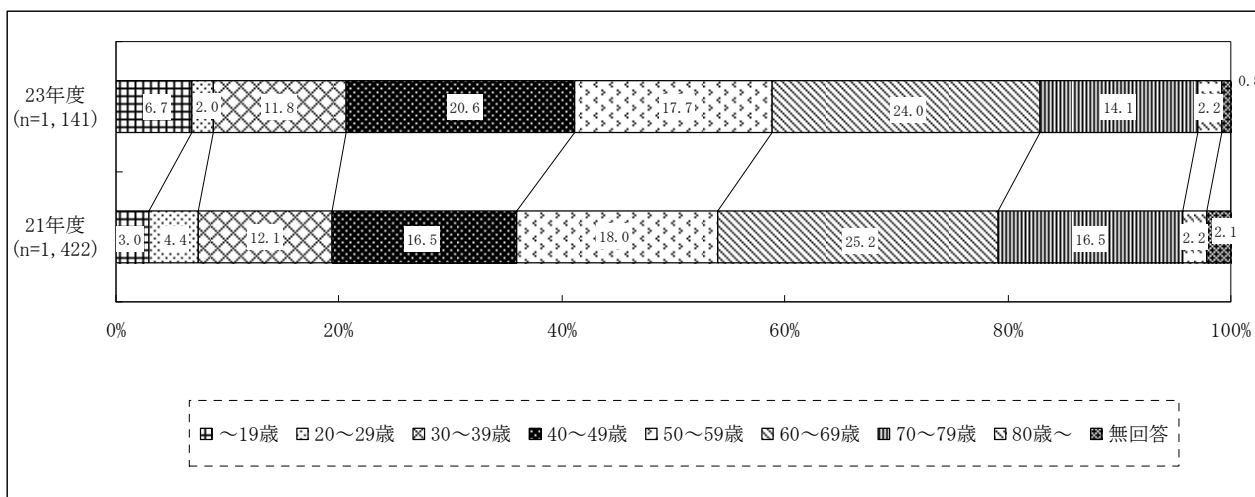
6 回答者の属性…回答者数（回答率）

(1) 性別

男性	529人(46.4%)	女性	605人(53.0%)	無回答	7人(0.6%)
----	-------------	----	-------------	-----	----------

(2) 年齢

～19歳	77人(6.7%)	40～49歳	235人(20.6%)	70～79歳	161人(14.1%)
20～29歳	23人(2.0%)	50～59歳	202人(17.7%)	80歳～	25人(2.2%)
30～39歳	135人(11.8%)	60～69歳	274人(24.0%)	無回答	9人(0.8%)

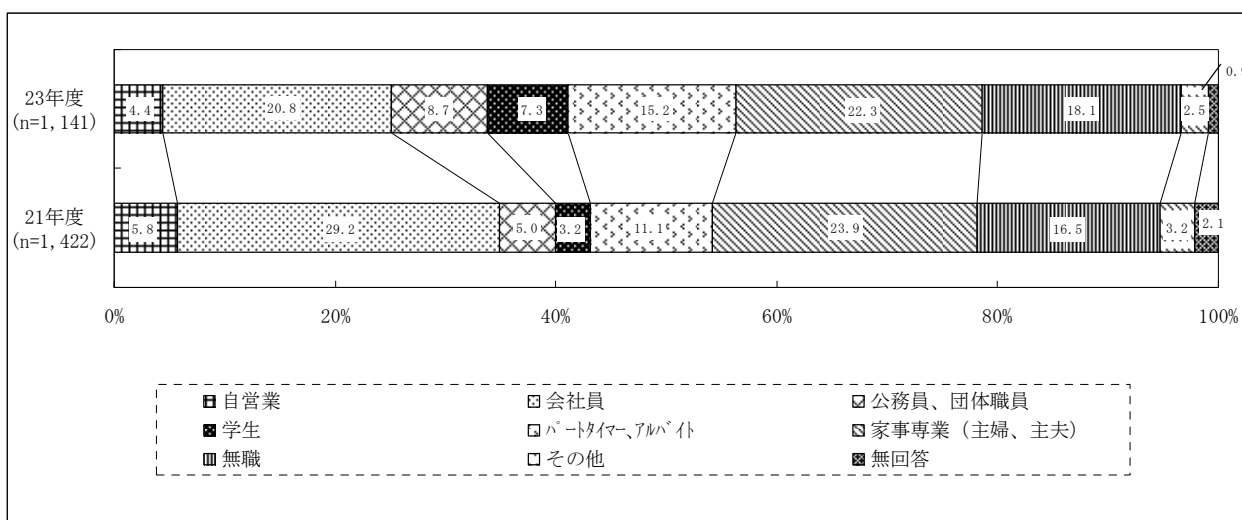


(3) 住所

横浜市	318人(27.9%)	厚木市	11人(1.0%)	大井町	2人(0.2%)
川崎市	31人(2.7%)	大和市	6人(0.5%)	松田町	0人(0.0%)
相模原市	81人(7.1%)	伊勢原市	36人(3.2%)	山北町	4人(0.4%)
横須賀市	134人(11.7%)	海老名市	3人(0.3%)	開成町	0人(0.0%)
平塚市	80人(7.0%)	座間市	10人(0.9%)	箱根町	3人(0.3%)
鎌倉市	45人(3.9%)	南足柄市	3人(0.3%)	真鶴町	0人(0.0%)
藤沢市	104人(9.1%)	綾瀬市	3人(0.3%)	湯河原町	1人(0.1%)
小田原市	7人(0.6%)	葉山町	60人(5.3%)	愛川町	52人(4.6%)
茅ヶ崎市	60人(5.3%)	寒川町	3人(0.3%)	清川村	0人(0.0%)
逗子市	25人(2.2%)	大磯町	2人(0.2%)	県外	33人(2.9%)
三浦市	8人(0.7%)	二宮町	2人(0.2%)	無回答	7人(0.6%)
秦野市	7人(0.6%)	中井町	0人(0.0%)		

(4) 職業

自営業	50人(4.4%)	家事専業(主婦、主夫)	255人(22.3%)
会社員	237人(20.8%)	無職	206人(18.1%)
公務員、団体職員	99人(8.7%)	その他	28人(2.5%)
学生	83人(7.3%)	無回答	10人(0.9%)
パートタイマー、アルバイト	173人(15.2%)		



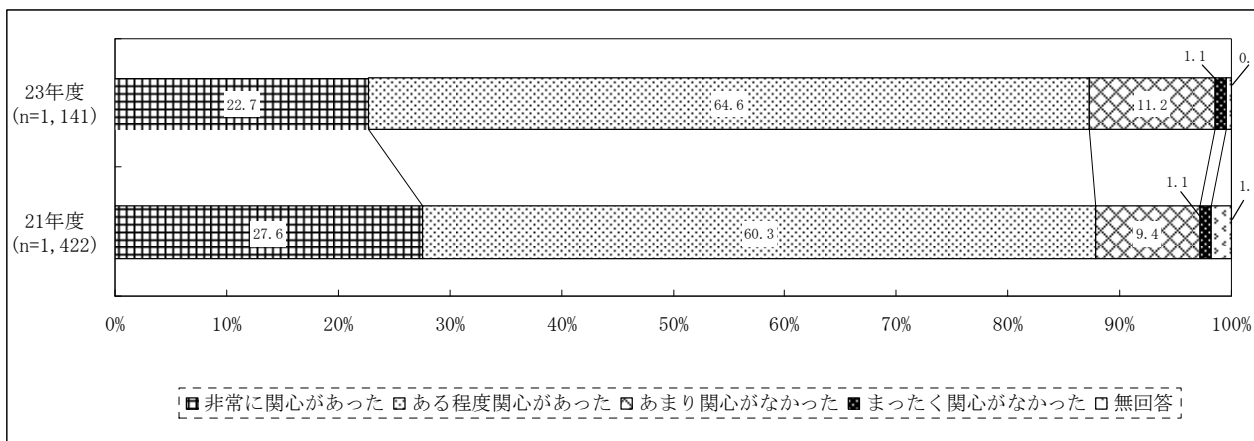
II 調査結果

1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について

【問1】

あなたはマイアジェンダ登録前から、地球温暖化問題に関心がありましたか？

(回答者数1,141人：答は一つ)



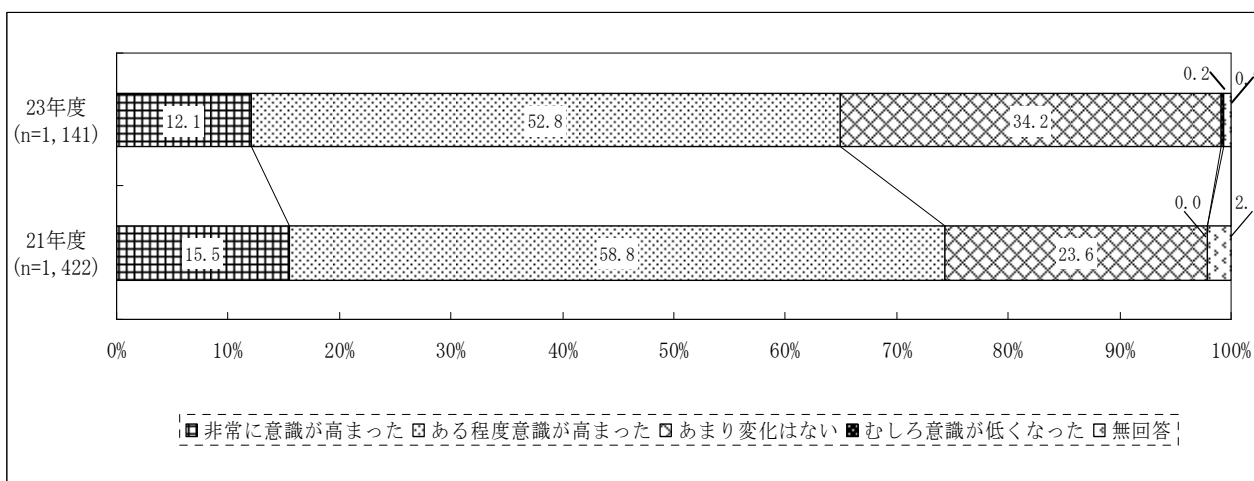
「非常に興味があった」と「ある程度関心があった」を合わせた《関心があった》が87.3%となっており、地球温暖化問題への関心の高さがうかがわれた。

平成21年度と比較すると、《関心があった》は0.6ポイント減（87.9% → 87.3%）とあまり変化はないが、内訳を見ると「非常に興味があった」が4.9ポイント減（27.6% → 22.7%）となっている。

【問2】

マイアジェンダ登録を行ってから、地球温暖化問題に対してあなたの意識に変化はありましたか？

(回答者数1,141人：答は一つ)



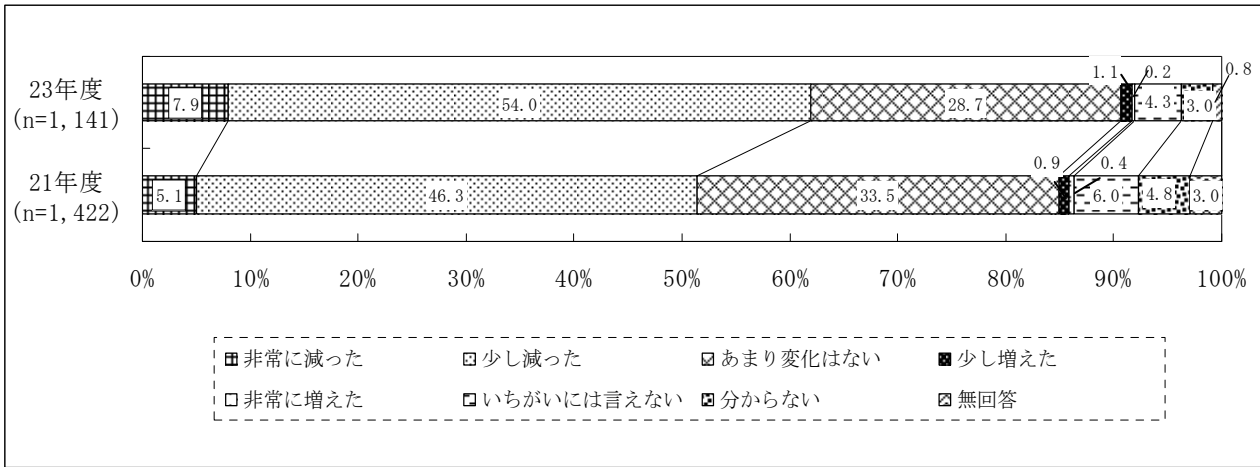
「非常に意識が高まった」と「ある程度意識が高まった」を合わせた《意識が高まった》が64.9%となっており、マイアジェンダ登録が地球温暖化問題に対する意識を高めるきっかけになることが検証された。

平成21年度と比較すると、《意識が高まった》は9.4ポイント減（74.3% → 64.9%）となり、「あまり変化がない」は10.6ポイント増（23.6% → 34.2%）となった。

【問3】

マイアジェンダ登録後、あなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量に変化はありましたか？

(回答者数1,141人：答は一つ)



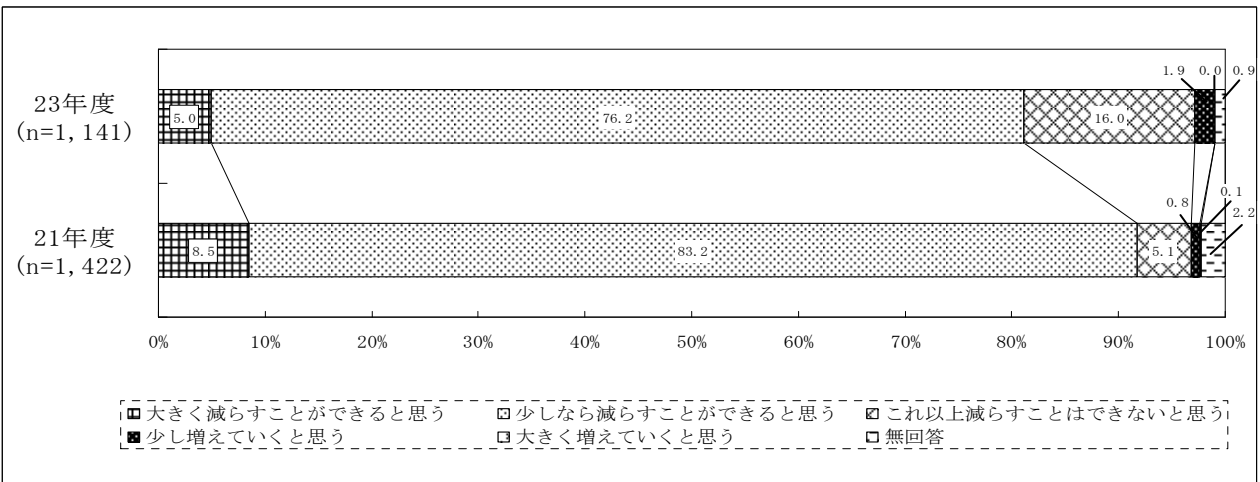
「非常に減った」と「少し減った」を合わせた《減った》が61.9%となっており、マイアジェンダ登録が意識の変化だけでなく、具体的な省エネルギーにも結びつくことが検証された。

平成21年度と比較すると、《減った》は10.5ポイント増 (51.4% → 61.9%) となった。

【問4】

あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていくことは可能だと思いますか？

(回答者数1,141人：答は一つ)

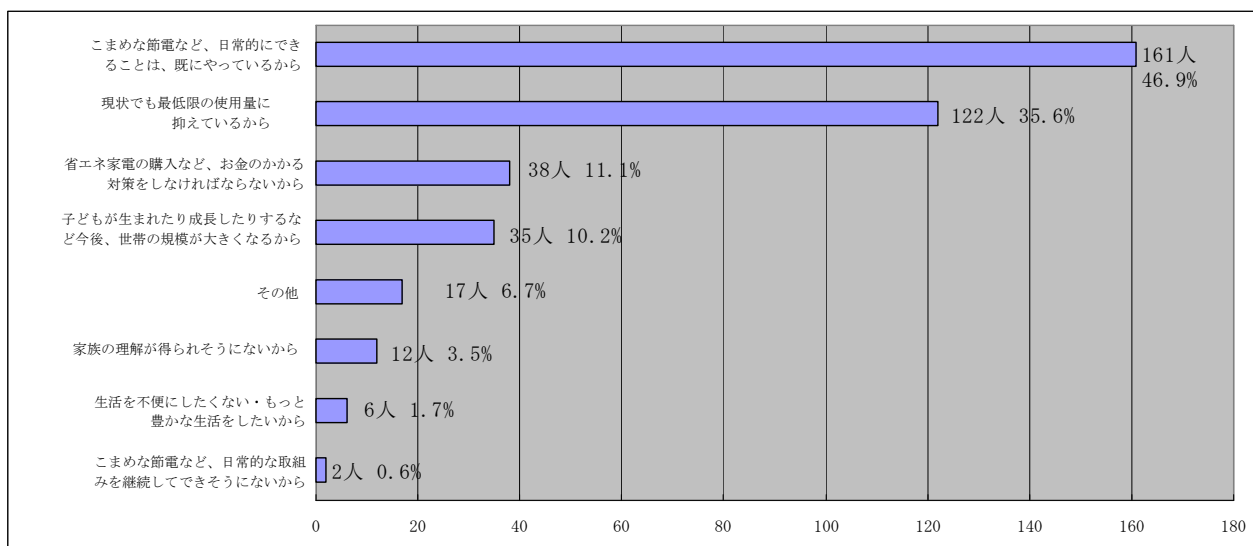


「大きく減らすことができると思う」と「少しなら減らすことができると思う」を合わせた《減らすことができると思う》が81.2%となっており、電機・ガス・水道の使用量をさらに減らせるという意識を持っていることが検証された。

平成21年度と比較すると、《減らすことができると思う》が10.5ポイント減 (91.7% → 81.2%) となり、「これ以上減らすことはできないと思う」が10.9ポイント増 (5.1% → 16%) となった。

【問5】

電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも「減らすことはできない」「増えていく」と思うのはなぜですか？
 (回答者数205人：答は三つまで)

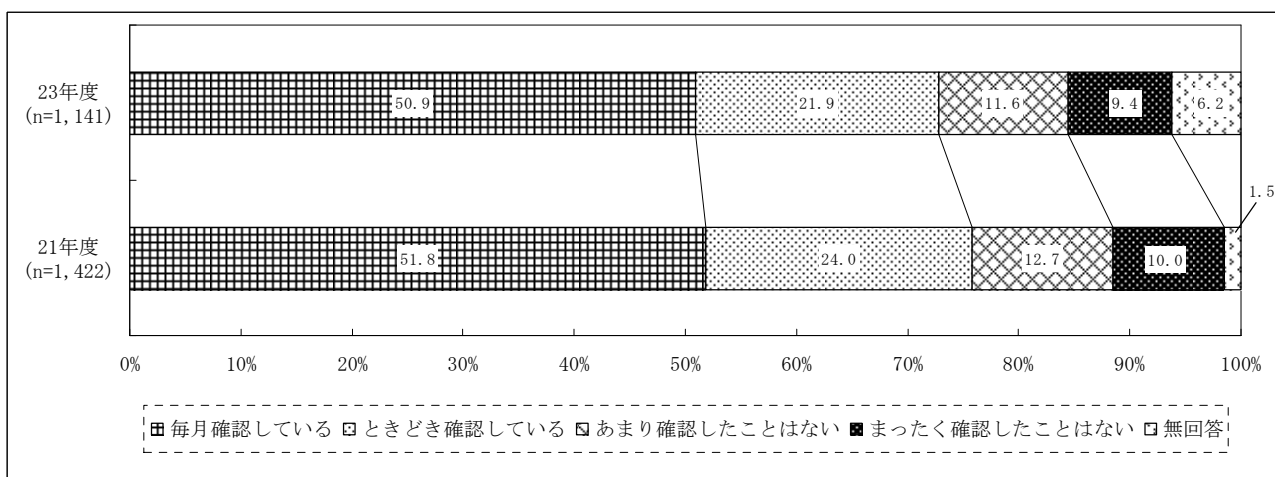


「こまめな節電など、日常的にできることは、既にやっているから」が46.9%、「現状でも、最低限の使用量に抑えているから」が35.6%となっており、できることは既にすべてやっているという認識を持っている人が多いことがうかがわれた。

【問6】

あなたは、自分で電気・ガス・水道の検針票を確認していますか？

(回答者数1,141人：答は一つ)



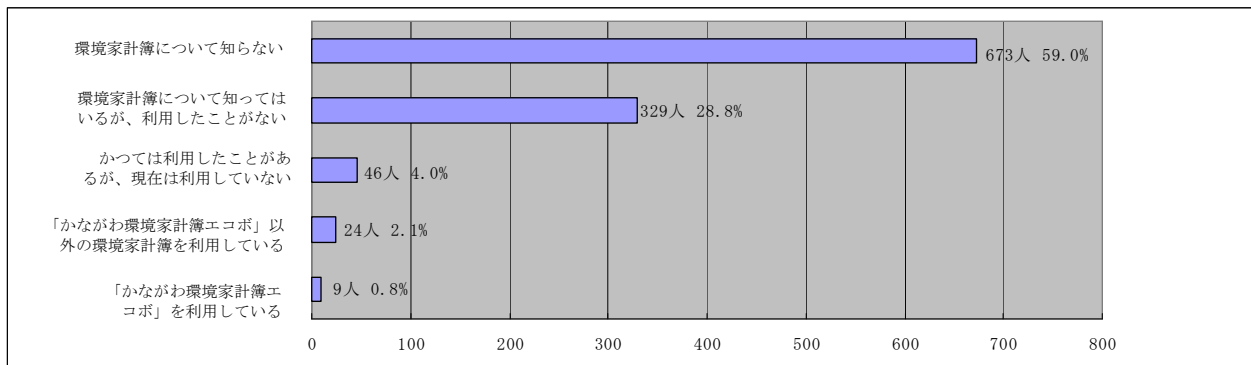
「毎月確認している」と「ときどき確認している」を合わせた《確認している》が72.8%となっており、家庭における地球温暖化対策の基礎となる検針票の確認については習慣となっている人が多く、環境家計簿の利用など、より進んだ取組みに展開できる可能性があることが検証された。

平成21年度と比較すると《確認している》は3ポイント減(75.8% → 72.8%)となった。

【問7】

あなたの家庭では、環境家計簿を利用していますか？

(回答者数1,141人：答は該当する項目すべて)

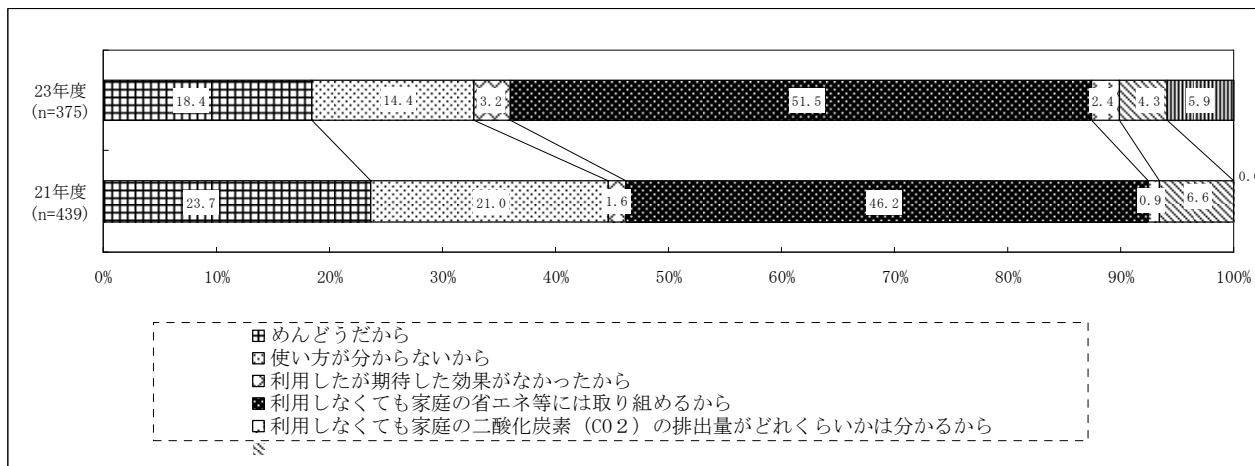


「環境家計簿については知らない」が59.0%となり、環境家計簿について更なる周知を図っていく必要があることが検証された。また、「環境家計簿については知っているが、利用したことがない」と「かつては利用したことがあるが現在は利用していない」が合わせて32.8%となっており、環境家計簿の取組みをどのように開始してもらい、さらに継続してもらおうのかが課題であることも検証された。

【問8】

環境家計簿を利用していない主な理由は何ですか？

(回答者数375人：答は一つ)

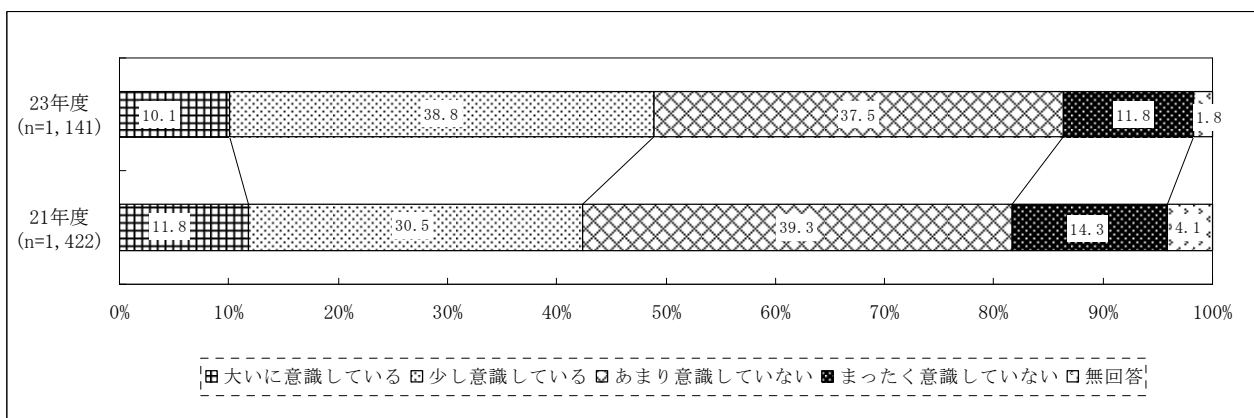


「めんどうだから」が18.4%、「使い方が分からないから」が14.4%となっており、利用を開始するまでのきっかけづくりにも更なる工夫を図る必要があることが検証された。

平成21年度と比較すると、「利用したが期待した効果がなかったから」が1.6ポイント増（1.6% → 3.2%）となっており、一度は利用したことのある人が増加していることがうかがわれた。

【問9】

商品の購入にあたり、生産されて店頭に着くまでに排出される二酸化炭素(CO₂)や、使用するときに排出されるCO₂を意識して選択しますか？ (回答者数1,141人：答は一つ)



「大いに意識している」と「少し意識している」を合わせた《意識している》が48.9%となっており、約半数の人が商品の購入において排出されるCO₂を意識していることがうかがわれた。

平成21年度と比較すると《意識している》が6.6ポイント増(42.3% → 48.9%)となっている。

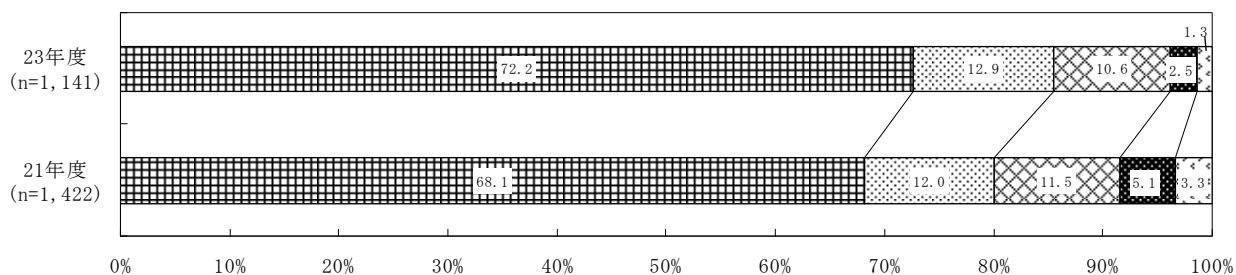
【問10】

買い物などをするとときに、次の各項目について関心はありますか？

(回答者数1,141人：項目ごとに答は一つ)

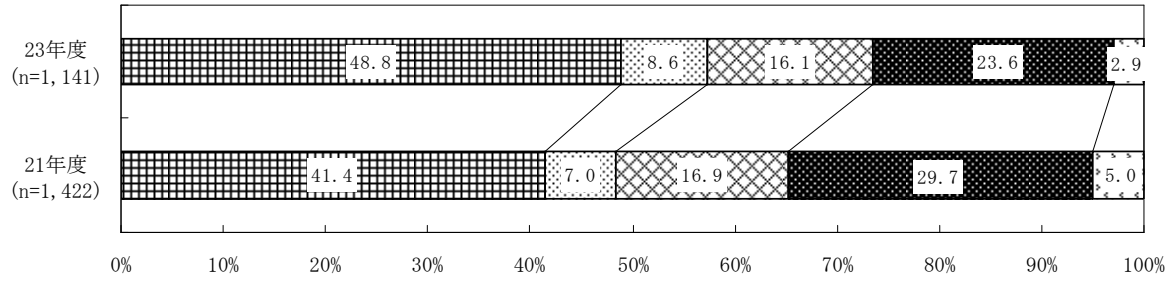
エコマーク

関心がある 知っているが関心はない 聞いたことがある程度 知らない 無回答

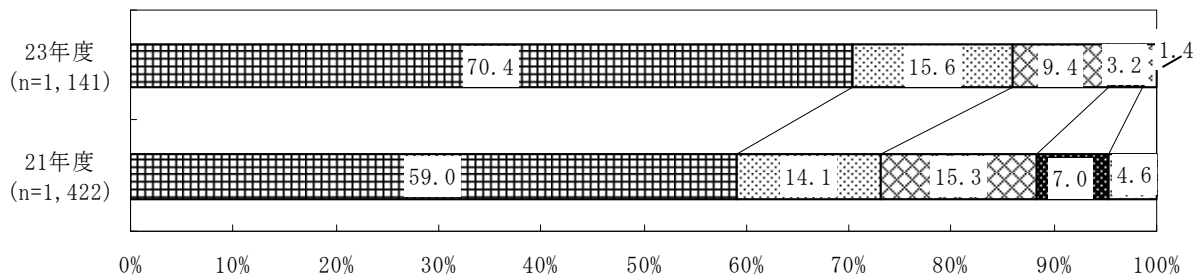


■ 関心がある ■ 知っているが関心はない ■ 聞いたことがある程度 ■ 知らない □ 無回答

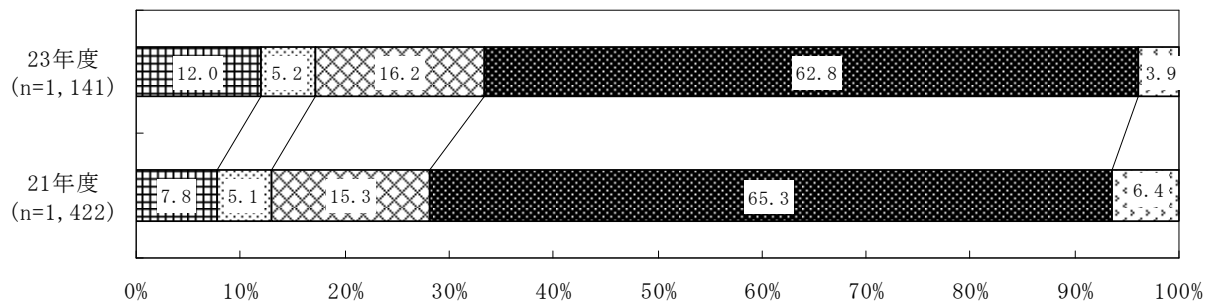
省エネラベル



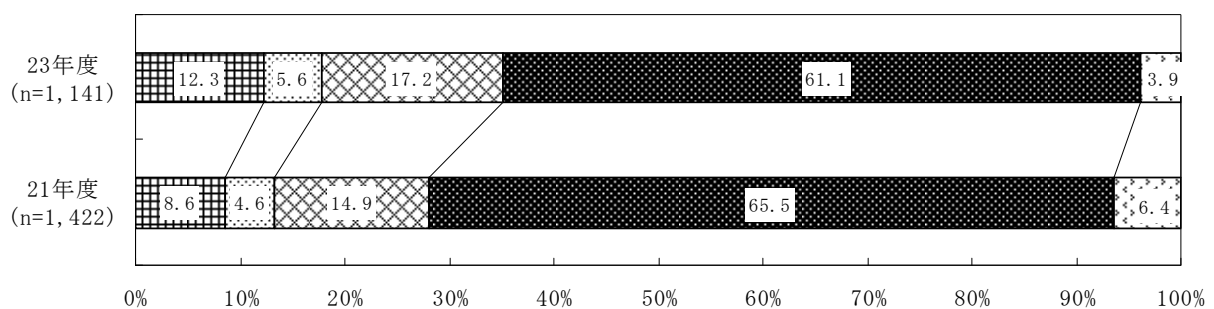
エコポイント (家電)



エコ・アクション・ポイント

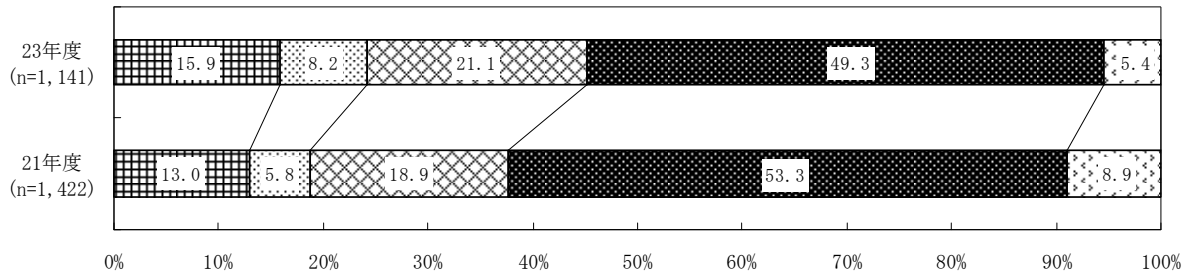


カーボンフットプリント

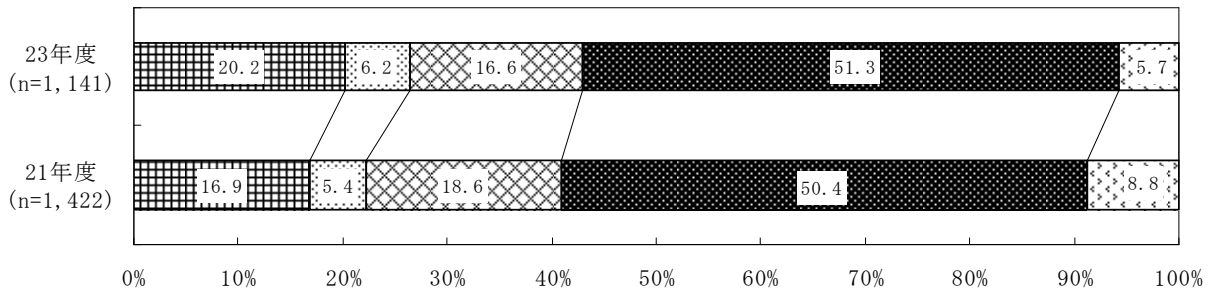


田 関心がある 田 知っているが関心はない 田 聞いたことがある程度 田 知らない 田 無回答

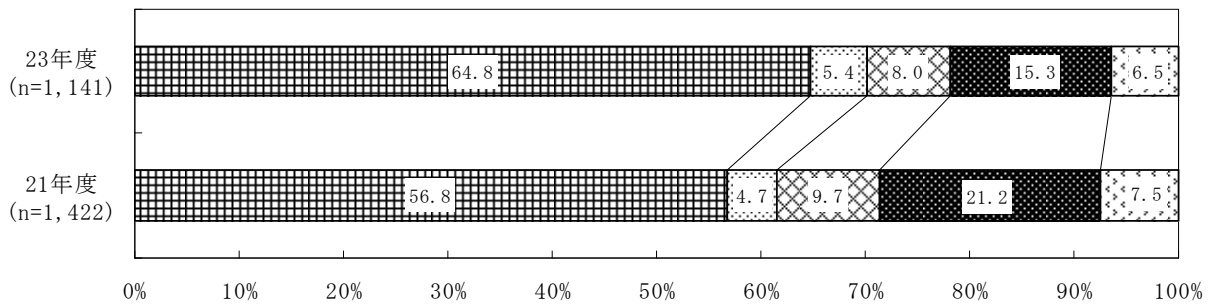
カーボンオフセット



フードマイレージ



地産地消



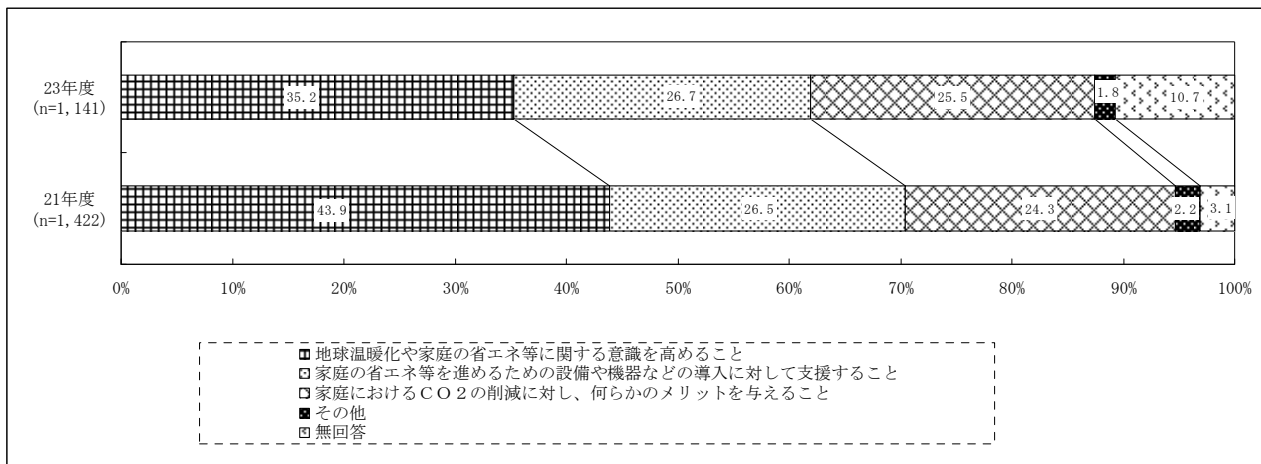
「関心がある」は高い順に「エコマーク」が72.2%、「エコポイント」が70.4%、「地産地消」が64.8%、「省エネラベル」が48.8%となった一方、低い順では「エコ・アクション・ポイント」が12.0%、「カーボンフットプリント」が12.3%、「カーボンオフセット」が15.9%、「フードマイレージ」が20.0%となっており、認知度の高いものと低いものに大きく分かれていることが分かった。

平成21年度と比較すると、高い順・低い順ともパーセンテージの違いはあるものの、認知度の順位に変化がないことが検証された。

2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について

【問11】

家庭におけるCO₂の排出を削減するためには、どのような分野の施策を優先的に実施すべきだと思いますか？
(回答者数1,141人：答は一つ)

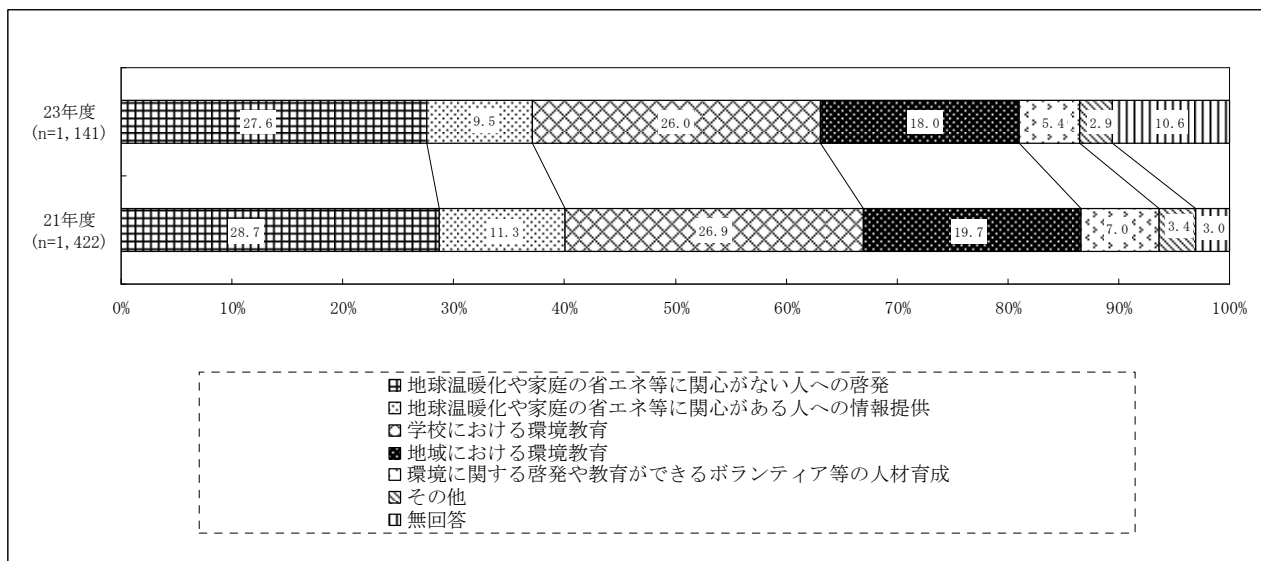


「地球温暖化対策や家庭の省エネ等に関する意識を高めること」が35.2%となった一方で、「家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入に対して支援すること」が26.7%、「家庭におけるCO₂の削減に対し、何らかのメリットを与えること」が25.5%となっており、普及啓発的な施策、補助的な施策、インセンティブを付与する施策の各々にニーズがあることが分かった。

平成21年度と比較すると「地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めること」が8.7ポイント減（43.9% → 35.2%）となっている。

【問12】

地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めるためには、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？
(回答者数1,141人：答は一つ)

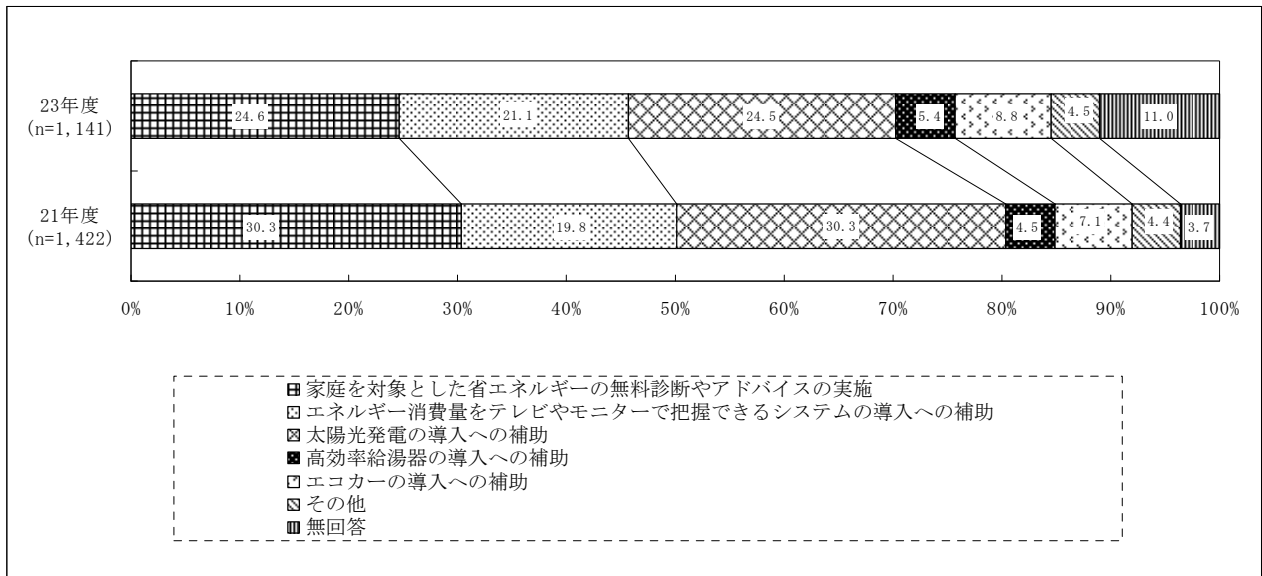


「地球温暖化や家庭の省エネ等に関心がない人への啓発」が27.6%、「学校における環境教育」が26.0%、「地域における環境教育」が18.0%となっており、いくつかの施策を並行的に進めていくニーズがあることが分かった。

平成21年度と比較して、全体的な傾向に変化はない。

【問13】

家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入を促進するためには、具体的にどのような支援が最も有効だと思いますか？
 (回答者数1,141人：答は一つ)

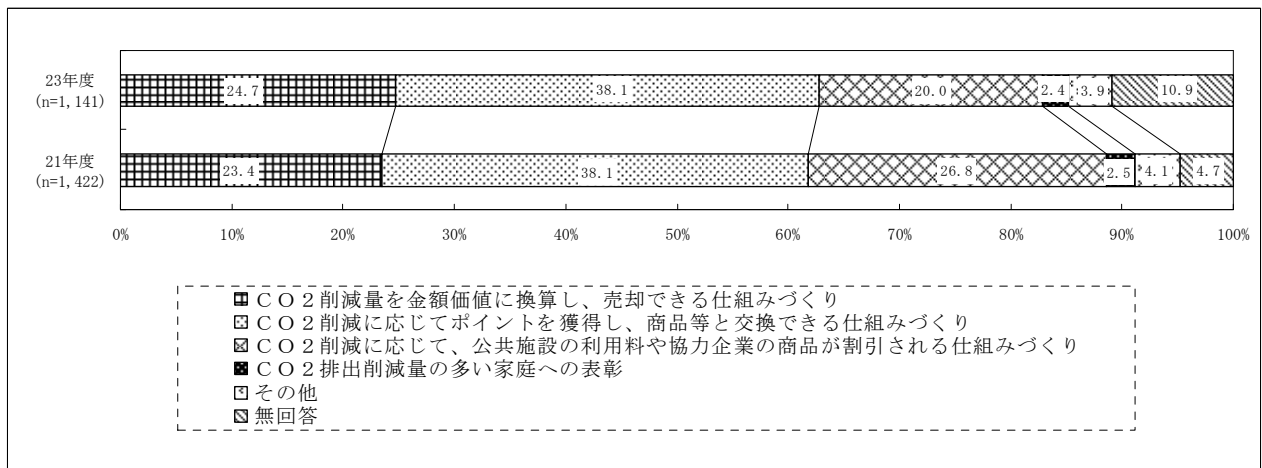


「家庭を対象とした省エネルギーの無料診断やアドバイスの実施」が24.6%、「エネルギー消費量をテレビやモニターで把握できるシステム導入への補助」が21.1%、「太陽光発電導入への補助」が24.5%となっており、多様な支援が求められていることが分かった。

平成21年度と比較して、全体的な傾向に変化はない。

【問14】

家庭におけるCO₂の削減に対し、何らかのメリットを与えるための施策としては、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？
 (回答者数1,141人：答は一つ)



「CO₂削減に応じてポイントを獲得し、商品等と交換できる仕組みづくり」が38.1%、「CO₂削減に量を経済価値に換算し、売却できる仕組みづくり」が24.7%、「CO₂削減に応じて、公共施設の利用料や協力企業の商品が割引される仕組みづくり」が20.0%となっており、多様なインセンティブが求められていることがわかった。

平成21年度と比較すると「CO₂削減に応じて、公共施設の利用料や協力企業の商品が割引される仕組みづくり」が6.8ポイント減(26.8% → 20.0%)となっている。

Ⅲ 集計表

1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について

【問1】

あなたはマイアジェンダ登録前から、地球温暖化問題に関心がありましたか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 非常に関心があった	392	259	27.6	22.7
2 ある程度関心があった	857	737	60.3	64.6
3 あまり関心がなかった	133	128	9.4	11.2
4 まったく関心がなかった	15	12	1.1	1.1
無回答	25	5	1.8	0.4
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 + 2 関心があった	1,249	996	87.8	87.3
3 + 4 関心がなかった	148	140	10.4	12.3
無回答	25	5	1.8	0.4
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

【問2】

マイアジェンダ登録を行ってから、地球温暖化問題に対してあなたの意識に変化はありましたか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 非常に意識が高まった	221	138	15.5	12.1
2 ある程度意識が高まった	836	603	58.8	52.8
3 あまり変化はない	335	390	23.6	34.2
4 むしろ意識が低くなった	0	2	0.0	0.2
無回答	30	8	2.1	0.7
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 + 2 高くなった	1,057	741	74.3	64.9
3 あまり変化はない	335	390	23.6	34.2
4 低くなった	0	2	0.0	0.2
無回答	30	8	2.1	0.7
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

【問3】

マイアジェンダ登録後、あなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量に変化はありましたか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 非常に減った	72	90	5.1	7.9
2 少し減った	659	616	46.3	54.0
3 あまり変化はない	477	328	33.5	28.7
4 少し増えた	13	13	0.9	1.1
5 非常に増えた	6	2	0.4	0.2
6 いちがいには言えない	85	49	6.0	4.3
7 分からない	68	34	4.8	3.0
無回答	42	9	3.0	0.8
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 + 2 減った	731	706	51.4	61.9
3 あまり変化はない	477	328	33.5	28.7
4 + 5 増えた	19	15	1.3	1.3
6 + 7 いちがいには言えない 分からない、無回答	195	92	13.7	8.1
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

【問4】

あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていくことは可能だと思いますか？

(答は一つ：H21 1,367人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 大きく減らすことができると思う	116	57	8.5	5.0
2 少しなら減らすことができると思う	1138	869	83.2	76.2
3 これ以上減らすことはできないと思う	70	183	5.1	16.0
4 少し増えていくと思う	11	22	0.8	1.9
5 大きく増えていくと思う	2	0	0.1	0.0
無回答	30	10	2.2	0.9
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 + 2 可能	1,254	926	91.7	81.2
3 減らすことはできない	70	183	5.1	16.0
4 + 5 増える	13	22	1.0	1.9
無回答	30	10	2.2	0.9
合 計	1,367	1,141	100.0	100.0

【問5】

電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも「減らすことはできない」「増えていく」と思うのはなぜですか？
(答は三つまで：H21 137人、H23 205人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 こまめな節電など、日常的な取組みを継続してできそうにないから	2	2	1.5	0.6
2 こまめな節電など、日常的にできることは、既にやっているから	109	161	79.6	46.9
3 省エネ家電の購入など、お金のかかる対策をしなければならないから	26	38	19.0	11.1
4 家族の理解が得られそうにないから	7	12	5.1	3.5
5 現状でも最低限の使用量に抑えているから	74	122	54.0	35.6
6 生活を不便にしたくない・もっと豊かな生活をしたいから	6	6	4.4	1.7
7 子どもが生まれたり成長したりするなど、今後、世帯の規模が大きくなるから	24	35	17.5	10.2
8 その他	11	17	8.0	6.7

(問5その他)

- ・3人から5人へ世帯の規模が大きくなったから。一人当たりの増加量は微増だと思う。
- ・数年前から節電や省エネに努めており、これ以上は厳しいから。
- ・親の介護が必要なため。

【問6】

あなたは、自分で電気・ガス・水道の検針票を確認していますか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 毎月確認している	737	581	51.8	50.9
2 ときどき確認している	341	250	24.0	21.9
3 あまり確認したことはない	180	132	12.7	11.6
4 まったく確認したことはない	142	107	10.0	9.4
無回答	22	71	1.5	6.2
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

項 目	回答数 (人)		回答率	
	H21	H23	H21	H23
1 + 2 確認している	1,078	831	75.8	72.8
3 + 4 確認したことはない	322	239	22.6	20.9
無回答	22	71	1.5	6.2
合 計	1,422	1,141	100.0	99.9

【問7】

あなたの家庭では、環境家計簿を利用していますか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 「かながわ環境家計簿エコポ」を利用している	18	9	1.3	0.8
2 「かながわ環境家計簿エコポ」以外の環境家計簿を利用している	30	24	2.1	2.1
3 かつては利用したことがあるが、現在は利用していない	72	46	5.1	4.0
4 環境家計簿について知ってはいるが、利用したことがない	367	329	25.8	28.8
5 環境家計簿について知らない	874	673	61.5	59.0
無回答	18	60	1.3	5.3

(問7 エコポ以外の環境家計簿)

- ・ 明るい暮らしの家計簿
- ・ かながわ生協の環境家計簿
- ・ 会社が準備している環境家計簿

【問8】

環境家計簿を利用していない主な理由は何ですか？ (答は一つ：H21 439人、H23 375人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 めんどうだから	104	69	23.7	18.4
2 使い方が分からないから	92	54	21.0	14.4
3 利用したが期待した効果がなかったから	7	12	1.6	3.2
4 利用しなくても家庭の省エネ等には取り組めるから	203	193	46.2	51.5
5 利用しなくても家庭の二酸化炭素 (CO ₂) の排出量がどれくらいかは分かるから	4	9	0.9	2.4
6 その他	29	16	6.6	4.3
無回答	0	22	0.0	5.9
合 計	439	375	100.0	100.0

(問8 その他の理由)

- ・自分のスタイルで自家製家計簿を作成し使用。
- ・環境家計簿がどこで入手できるのか知らない。
- ・以前、環境家計簿をつけていたが、目に見える減量がなかったから。また、グラフ化もしているので、それに対してアドバイス等があればやる気も持続したと思う。

【問9】

商品の購入にあたり、生産されて店頭に届くまでに排出される二酸化炭素(CO₂)や、使用するときには排出されるCO₂を意識して選択しますか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)






項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 大いに意識している	168	115	11.8	10.1
2 少し意識している	434	443	30.5	38.8
3 あまり意識していない	559	428	39.3	37.5
4 まったく意識していない	203	135	14.3	11.8
無回答	58	20	4.1	1.8
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

項 目	回答数 (人)		回答率	
	H21	H23	H21	H23
1 + 2 意識している	602	558	42.3	48.9
3 + 4 意識していない	762	563	53.6	49.3
無回答	58	20	4.1	1.8
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

【問10】

買い物などをするときに、次の各項目について関心はありますか？

(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項目		関心度	年度	関心がある	知っているが関心はない	聞いたことがある程度	知らない	無回答
エコマーク		H21	969人 (68.1%)	170人 (12.0%)	163人 (11.5%)	73人 (5.1%)	47人 (3.3%)	
		H23	830人 (72.2%)	147人 (12.9%)	121人 (10.6%)	28人 (2.5%)	15人 (1.3%)	
省エネラベル		H21	589人 (41.4%)	100人 (7.0%)	240人 (16.9%)	422人 (29.7%)	71人 (5.0%)	
		H23	557人 (48.8%)	98人 (8.6%)	184人 (16.1%)	269人 (23.6%)	33人 (2.9%)	
エコポイント		H21	839人 (59.0%)	200人 (14.1%)	217人 (15.3%)	100人 (7.0%)	66人 (4.6%)	
		H23	803人 (70.4%)	178人 (15.6%)	107人 (9.4%)	37人 (3.2%)	16人 (1.4%)	
エコ・アクション・ポイント		H21	111人 (7.8%)	73人 (5.1%)	218人 (15.3%)	929人 (65.3%)	91人 (6.4%)	
		H23	137人 (12.0%)	59人 (5.2%)	185人 (16.2%)	716人 (62.8%)	44人 (3.9%)	
カーボンフットプリント		H21	123人 (8.6%)	65人 (4.6%)	212人 (14.9%)	931人 (65.5%)	91人 (6.4%)	
		H23	140人 (12.3%)	64人 (5.6%)	196人 (17.2%)	697人 (61.1%)	44人 (3.9%)	
カーボンオフセット		H21	185人 (13.0%)	83人 (5.8%)	269人 (18.9%)	758人 (53.3%)	127人 (8.9%)	
		H23	181人 (15.9%)	94人 (8.2%)	241人 (21.1%)	563人 (49.3%)	62人 (5.4%)	
フードマイレージ		H21	240人 (16.9%)	77人 (5.4%)	264人 (18.6%)	716人 (50.4%)	125人 (8.8%)	
		H23	231人 (20.2%)	71人 (6.2%)	189人 (16.6%)	585人 (51.3%)	65人 (5.7%)	
地産地消		H21	808人 (56.8%)	67人 (4.7%)	138人 (9.7%)	302人 (21.2%)	107人 (7.5%)	
		H23	739人 (64.8%)	62人 (5.4%)	91人 (8.0%)	175人 (15.3%)	74人 (6.5%)	

2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について

【問11】

家庭におけるCO₂の排出を削減するためには、どのような分野の施策を優先的に実施すべきだと思いますか？
(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めること	624	402	43.9	35.2
2 家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入に対して支援すること	377	305	26.5	26.7
3 家庭におけるCO ₂ の削減に対し、何らかのメリットを与えること	346	291	24.3	25.5
4 その他	31	21	2.2	1.8
無回答	44	122	3.1	10.7
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

(問11 その他の優先的に実施すべき施策)

- ・省エネ製品を開発する。
- ・家庭からのCO₂排出に対して、何らかのデメリットを与えること。
- ・炭素税を導入して、省エネを行うメリットを感じさせる仕組みづくりを行う。また、それを財源に、省エネへのインセンティブにつながる制度を導入する。

【問12】

地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めるためには、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？
(答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 地球温暖化や家庭の省エネ等に関心がない人への啓発	408	315	28.7	27.6
2 地球温暖化や家庭の省エネ等に関心がある人への情報提供	161	108	11.3	9.5
3 学校における環境教育	383	297	26.9	26.0
4 地域における環境教育	280	205	19.7	18.0
5 環境に関する啓発や教育ができるボランティア等の人材育成	99	62	7.0	5.4
6 その他	48	33	3.4	2.9
無回答	43	121	3.0	10.6
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

(問12 その他の意識を高めるための施策)

- ・メディアから情報を提供する。
- ・子どもへの啓発を行う。理解も早く、大人への影響力もある。
- ・何をすべきか具体的に示して、効果やメリットを明確にする。
- ・地球温暖化防止の取組を行うと得をするようにする。
- ・何らかのメリットやインセンティブがなければ進まないと思う。

【問13】

家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入を促進するためには、具体的にどのような支援が最も有効だと思いますか？ (答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 家庭を対象とした省エネルギーの無料診断やアドバイスの実施	431	281	30.3	24.6
2 エネルギー消費量をテレビやモニターで把握できるシステムの導入への補助	281	241	19.8	21.1
3 太陽光発電の導入への補助	431	280	30.3	24.5
4 高効率給湯器の導入への補助	64	62	4.5	5.4
5 エコカーの導入への補助	101	100	7.1	8.8
6 その他	62	51	4.4	4.5
無回答	52	126	3.7	11.0
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

(問13 その他の省エネを進めるための設備や機器などの導入促進支援)

- ・省エネ商品への買い替え費用の補助を行う。
- ・マンションの場合、個人ではどうにもならない部分があるので、そういった部分への支援策。
- ・新たな機器を導入するのではなく、必要ではないものを買わないように節約を勧めることが大切だと思う。

【問14】

家庭におけるCO₂の削減に対し、何らかのメリットを与えるための施策としては、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？ (答は一つ：H21 1,422人、H23 1,141人)

項 目	回答数 (人)		回答率 (%)	
	H21	H23	H21	H23
1 CO ₂ 削減量を金額価値に換算し、売却できる仕組みづくり	333	282	23.4	24.7
2 CO ₂ 削減に応じてポイントを獲得し、商品等と交換できる仕組みづくり	542	435	38.1	38.1
3 CO ₂ 削減に応じて、公共施設の利用料や協力企業の商品が割引される仕組みづくり	381	228	26.8	20.0
4 CO ₂ 排出削減量の多い家庭への表彰	41	27	2.5	2.4
5 その他	58	45	4.1	3.9
無回答	67	124	4.7	10.9
合 計	1,422	1,141	100.0	100.0

(問14 その他のCO₂削減にメリットを与える施策)

- ・現状で、最低限の使用量に抑えている我が家では、削減量に対してメリットが付与されても何の恩恵もないということ。なので、使用量の少ない家庭に対してメリットがあると嬉しい。
- ・あまり有効な施策はない。
- ・メリットを与えるより、意識を高めるべき。見返りがなくてもそうしたいと思うことが大切。

自由意見

■CO₂削減のための提案

- ・個人で意識しても、意識のまったくない人や、行動のない人を見てしまうと、無意味さを感じガッカリすることもあります。学校、自治体、企業などでも意識が高くなっているのは感じるので、個々が実践できる・しやすい活動の啓発をすすめていく必要があると思います。
- ・地球温暖化対策のひとつとして自転車利用を促進すべきと思う。駐車場の利用価格、方法についてもっと利用しやすいようにするとよい。
- ・協力的ではない方々に関心を持たせるのは大変なことですが、紙面の周知では読み深めなければ行動に移りません。隣近所、友人等からの口コミやお誘いは意外に効果があるので、地域ごとに啓発ボランティアを配置したり、楽しみながら知識の身につく学習会を開催すれば効果があるのではないのでしょうか。
- ・書面や街頭キャンペーンで訴えても関心が得られ難い。テレビ等でもっと呼びかけたほうが、浸透すると思う。
- ・ポイントやお金で関心を集めるのではなく、地道な啓蒙活動を、広報等通じて行うのがあるべき姿だと思います。
- ・自家用車を使わず、公共交通機関を利用する人がもっと優遇されても良いのでは？
- ・我が家では子どもも無駄の削減に取り組んでいます。やったことが成果として見え、メリットを感じる活動を進めれば、少しずつでも良くなっていくのでは、と期待しています。
- ・個々の人が成果を意識・確認することは大変大切なこと。次のSTEPとして、取組みの成果が効果を挙げているのか知れたらよいと思います。
- ・一人ひとりが自覚を持ち、できることから始めるのが一番だと思います。

■CO₂削減の決意

- ・個人でできることから実践し、その積み重ねを成果として次世代に伝えていく。
- ・お米を研いだ水は土に戻すとか、野菜のくずは再利用するなど、少しでもできる限りのことはしたい。
- ・地球温暖化防止は皆が少しずつでも心がけたら効果があると思います。グリーンカーテンや家庭菜園、米の研ぎ汁や風呂水の再利用、エコドライブなど楽しんでやっています。
- ・環境家計簿にもトライしてみようと思います。
- ・地震後の節電対策の省エネが思いがけず生活の見直しにつながった。不便はちょっとだけ工夫をすれば省エネできる。小さいことだけど、意識して続けていきたい。
- ・洗濯は毎日ではなくためてから行い、週に2回くらいにしようと思います。

■マイアジェンダ登録への感想

- ・広報に載せるなどして広く知らせたらよいと思います。カタカナを使わず、幅広い年齢に分かりやすくしたほうが良い。
- ・お互いにコミュニケーションをとりたいので、登録している人が地域毎に分かるといいかもしれません。
- ・このアンケートをきっかけに、もう少し地球温暖化防止についての意識を高めなければいけないと思いました。
- ・震災前後での変化が大きいと思う。もともとエアコン等をほとんど使用しない我が家のような場合、大きな削減は難しいので細かい節エネしかない。「エコ」もあまり言われると、生活の中で罪悪感を感じてしまう。

■行政への提言

- ・東日本大震災や温暖化による大雨等により国民全体の意識が大きく変わってきており、今がいろいろな意味でチャンスの時だと思う。行政の早い対応を望む。
- ・ごみの減量化として家庭ですでにできることに「生ごみの自家処理」があります。身近で簡単にできる方法を広く推進する施策を推進してください。
- ・このようなアンケートに参加させていただくだけでも、意識の高まりを感じます。将来（未来）のある子どもたちのためにも、先を歩む大人たちが基盤を築くべきだと思います。公共機関と手を携えて取り組めたら、いっそう良い対策ができるでしょう。
- ・地球温暖化防止といっても人事だと思っている人が、まだまだたくさんいます。一人ひとりが危機を捉えないと真剣に考えられないのかもしれないので、どんどん活動を広げていってください。
- ・温暖化対策が月単位、半年単位、年単位でどれだけ効果が出ているのか、県および国単位でマスメディアを使って公表するなどの工夫が必要だと思う。節約をしたところでどれだけ貢献できたかが分からないと長続きしない。

■その他

- ・省エネの新しい商品が出ても、古い製品が使えるので買い換える気にはなれない。
- ・地球温暖化防止、すこしでも心がけたいと思っています。青い空ときれいな川の地球に戻れたら…がんばりましょう!!
- ・環境フェアが毎年楽しみです。楽しみながら環境問題に自然に取り組むことが一番だと思います。
- ・「省エネ」や「温暖化対策」が商品を守るためのキャッチコピーになっているところがとても気になります。「物を大切に使う」ということを考えると、まだ使えるものを手放して新しいものを買うのが環境にいい事をした、とは言えないような気がします。
- ・娘は北極の氷が解ける＝白熊がかわいそう 程度の知識しかありませんが、子どもの頃からそういう問題を知っているだけでも、意識が違うと思います。これからも情報を与えていきたいと思っています。

マイアジェンダ登録者の地球温暖化防止の取組等に関する調査
結果報告書

神奈川県環境農政局環境保全部環境計画課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話：045-210-4065（直通）
ファックス：045-210-8952